

「冷凍餃子フライパンチャレンジから生まれたフライパン」誕生へ！

～2025年3月に4w1h オンラインショップ他で発売予定～

味の素冷凍食品「冷凍餃子フライパンチャレンジ」で集まった3,000個を超えるフライパンから、「冷凍餃子フライパンチャレンジから生まれたフライパン」が誕生します。この新たなフライパンは、製造は杉山金属株式会社が、企画・販売を株式会社燕三条キッチン研究所が行い、2025年2月より生産が開始されます。燕三条キッチン研究所の4w1h（ヨンダブリューイチエイチ）ブランドで展開され、2025年3月に4w1hオンラインショップや生活雑貨専門店などで発売予定です。



当社は“永久改良”をテーマに掲げ、<ギョーザ>は50年以上にわたって、味の改良や、油なし・水なしの調理化といった利便性の向上など、毎年のように商品に磨きをかけてきました。さらに、焼き上がったギョーザをフライパンから皿にひっくり返す楽しさや焼き上がりの感動をお届けすることを大切にしています。

2023年5月、1件の「ギョーザがフライパンに張りついた」というSNS投稿をきっかけに、「冷凍餃子フライパンチャレンジ」プロジェクトがはじまり、<ギョーザ>の張りつき改善に取り組んできました。このプロジェクトでは、生活者から3,520個のフライパンをお送りいただき、張りつきのメカニズムの分析や商品改良の検証に活かしてきました。約1年半の取り組みで、「12個完全に張りついてしまうフライパン」のうち、9割以上のフライパンで改善効果を確認するまでに至り、リニューアルした「AJINOMOTO ギョーザ」<ギョーザ>を2025年2月9日に発売します。



2024年12月、集まったフライパンの張りつきのメカニズムの分析を終えたため、新たなフライパンとして再生することを決めました。お送りいただいたフライパンと一緒に添えられた500通を超えるメッセージから、長年使ってきたフライパンへの深い愛着や家族との思い出が詰まっていることを知り、「何かの形で活かしたい」との思いに至りました。そのような中、当社の“永久改良”というものづくりへの姿勢や、フライパンの再資源化への思いに共感いただいたのが杉山金属でした。同社により「冷凍餃子フライパンチャレンジから生まれたフライパン」として製造され、2025年3月に4w1hオンラインショップや生活雑貨専門店などで販売され

る予定です。

「冷凍餃子フライパンチャレンジから生まれたフライパン」は、大きさや形状など〈ギョーザ〉を焼いた後、皿にひっくり返しやすい工夫が施されており、〈ギョーザ〉がキレイに焼ける楽しさを体感できる仕様になっています。

「冷凍餃子フライパンチャレンジ」プロジェクトサイト <https://www.ffa.ajinomoto.com/enjoy/frypan>

■金物の街・燕三条で77年にわたりフライパンを製造してきた 杉山金属株式会社全面協力で開発

杉山金属は、新潟県燕市で創業以来77年以上にわたり、キッチンツールの開発・製造を手がけてきた老舗キッチンウェアメーカーです。国内では極めて稀少な国産アルミフライパンの製造を手がけ、卓越した技術力を誇る企業として知られています。国内でアルミフライパンを製造する企業は限られていますが、杉山金属では熟練の職人技と最新の技術を融合させて、高品質な製品を生み出しています。

今回の「冷凍餃子フライパンチャレンジから生まれたフライパン」の開発には、杉山金属の卓越した技術力に加え、長年の経験から得た知見を加えられています。



■杉山金属株式会社 概要

会社名 : 杉山金属株式会社
本社所在地 : 新潟県燕市小池 3633-10
代表者 : 代表取締役社長 杉山 正隆
設立年月日 : 1948年11月
事業内容 : キッチンウェア製造販売、ハウスウェア製造販売、OEM 製造販売
ホームページ : <https://sugimetal.jp/>

4w1h ブランドとは

4w1hは、2017年に立ち上げた、クリエイターと金属加工メーカーのコラボチーム「燕三条キッチン研究所」から生み出されたブランド。コンセプトは5w1hからWhere（キッチン）を除いた4w1hであり、「そもそも」「いつ」「だれが」「なにを」「どのように」というキーワードから、キッチンツールを再編集している。新しい道具、自由な食事、最適な習慣と出会ってほしいという思いで、“本当に使いやすいキッチンツール”をめざしているブランド。

燕三条キッチン研究所「4w1h」サイト <https://4w1h.jp/>

4w1h オンラインショップ <https://4w1h.shop-pro.jp/>